

「地域はみんなで作らしましょう」

No. 13

令和5年1月1日

鹿島台まちづくりから



目次

- 鹿島台駅前マルシェを開催しました……1ページ
- 会長あいさつ……2ページ
- 地域で輝く人……2ページ
- 各委員会紹介……2～3ページ
- 鹿島台地域で「田んぼダム」が設置されています……4ページ
- まち協スタッフ募集中!!……4ページ
- 編集後記……4ページ

鹿島台駅前マルシェを
開催しました

毎年恒例の「鹿島台駅前モーニングマーケット・ビアガーデン」が「鹿島台駅前マルシェ」として開催されました。

令和二年と令和三年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となっておりましたが、感染予防対策を実施し開催することができました。(一部の開催日は大雨災害、新型コロナウイルス流行のため中止)

「鹿島台駅前マルシェ」は昼の部と夜の部の二部構成で実施し、昼の部では、地域の野菜やコーヒー、パン、総菜などが出品され、夜の部ではオリジナルトマトビール「シユワットデリシヤス」や焼き鳥、たこ焼きなど様々な出店が並び、ご来場された多くの皆様からご好評をいただきました。

令和五年も開催を予定しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

なお、出店者を随時募集中です。希望される方は下記の連絡先かホームページよりお申し込みをお願いします。



「鹿島台地域の活性化に向けて」



鹿島台まちづくり協議会
会長 高橋 亨

新年おめでとうございます。
鹿島台まちづくり協議会も地域の皆様のご支援、ご協力により十七年目を迎えましたことに厚く御礼申し上げます。

これまで、鹿島台の発展と活性化に向けて、五つの委員会がそれぞれの活動を行ってきました。二年間はコロナ禍の影響でいつもの活動ができませんでしたが、昨年は「鹿島台駅前マルシェ屋の部・夜の部(ピアガーデン)」、文化祭での「まるごと産業まつり」、鹿島台駅前通り公園での「光のファンタジー」、わらじまつりへの参加等コロナ禍の中、最大限の注意を払いながら活動してきました。それぞれ活動は皆様から好評をいただきました。

また、「鹿島台地域みんなのカレンダー」、「長寿者名簿」、「まち協だより」は従来通りお届けすることができました。

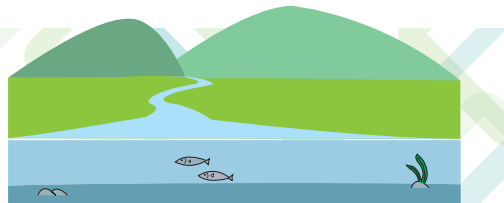
鹿島台を元気にするまちづくりは、地域の皆様と話し合いを重ね、一緒に活動していくことが大切だと思います。

今後も皆様と「住みつつげたい鹿島台」、「住んでみたい鹿島台」を目指していきます。

コロナが早く収束すること、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

地域で輝く人

NPO 法人「シナイモツゴ郷の会」



理事長 高橋 清孝 様

「シナイモツゴ郷の会」は大崎市天然記念物に指定され絶滅危惧種であるシナイモツゴの保護をはじめとした環境保護活動を行うNPO法人です。

「シナイモツゴ郷の会」はこれまで、鹿島台の農業者や小学校と共にシナイモツゴの保全に取り組み、シナイモツゴの脅威であるブラックバス、アメリカザリガニの駆除などを行ってきました。

さらには、水辺の自然再生共同シンポジウムの開催に携わり、活動の場をより一層広げています。

令和四年には駆除したアメリカザリガニの有効活用のため、試食会を行い、テレビや新聞などのメディアに取り上げられました。

鹿島台まちづくり協議会でもアメリカザリガニの試食会などに参加しました。環境、産業など様々な面でまちづくりに活かせるか検討していきます。

高橋理事長より

鹿島台の里山のため池ではシナイモツゴやゼニタナゴ等五種類の絶滅危惧種の魚が百年以上にわたり地元の農業者に守られ繁殖し続けてきました。絶滅危惧種の保全は国際的に重要視され、鹿島台のため池は大崎市世界農業遺産の一翼を担っています。これらのため池と魚たちは地域の大切な資源であり財産です。今後も、保護活動を地域ぐるみで続けていきますので、ご協力よろしくお願いたします。



アメリカザリガニの試食会



アメリカザリガニ捕獲風景

健やか安心委員会

当委員会は、「住民一人ひとりが健康で安心して暮らせる体制づくり」を目指しています。前年に引き続き「ゴミ出し」や「電球の取り換え」などの身近な困りごとを地域で支え合う、地域共生システムの検討を行ってきました。

しかし、近年の福祉行政は、きめ細かな支援が充実しつつあります。一昨年に当委員会で調査した困りごとが、概ね解消されているとの認識により、新たな課題として「交通弱者」「買物難民」にテーマを移しました。このことについては今後「わらじ号運営委員会」との連携を保ちながら議論を深めていきます。

第三回目となった「光のファンタジー」はいかがでしたでしょうか。今回は市の補助金もあり「幸せのアーチ」を設置しました。今年もぜひご期待ください。



新たに設置した「幸せのアーチ」

活力ある産業委員会

二〇二二年は全国的に感染対策を万全にし、イベント再開の動きが見られるようになってきました。

その中で、「鹿島台駅前モーニングマーケット」が「鹿島台駅前マルシェ」と名前を変え、二年ぶりに開催されました。当委員会では父の日の特別プレゼントとして「トマトビール」「シユワット」「テリシヤス」を、親子でいらしたお父さん限定で五十本ほど無料配布し、初めて飲まれる方も多く大変好評をいただきました。

また十一月五日には「まるごと産業まつり」を一年ぶりに再開することができ、たくさんの方に喜ばれました。



産業まつりの様子

コミュニティ活動委員会

当委員会では住みよいまちづくりのため、地域の環境問題の改善に取り組んでいます。

年に三回の「ごみ・ゼロ一斉大作戦」を昨年も公衆衛生組合や区長会、大崎市と連携して実施したほか、地域のごみ出しマナーの向上などにも努めてきました。

最近はおみ置き場のルールを守らず、回収できない粗大ごみやリサイクル家電などのごみを夜間に捨てていくケースが増えています。当委員会では、地域のおみ置き場の適正化を図るため、防犯用のライトを各行政区に配布し、ごみ置き場への設置を行いました。皆さんも今一度「ごみ」の出し方を確認し、美しいまちを作ってくださいましょう！



設置したセンサーライト

安全で快適委員会

令和四年三月の地震や連日の猛暑、梅雨明け宣言後の七月の記録的大雨での浸水被害など内水排除の流域治水が焦眉の急です。

また、繰り返されるため池での事故防止啓発活動に取り組んできたところではありますが、交通安全運動と同様に日常的な取り組み啓発が重要であります。

学校や家庭内での情報共有の大切さ等のほか、定期的なキャンペーンの実施「水難事故防止」を県内全域で推進していただくよう宮城県議会議長に要望書を提出しました。

更なる安心安全な地域づくりに邁進してまいります。



カーブミラーの清掃活動も行いました

のびのび生涯学習委員会

コロナ禍における活動は、私たちの事業を縮小させ、なかなか思うようにできませんでした。

そのような中で鎌田翁の不撓不屈の精神を引き継ぎ、鹿島台を知り、愛していただくために、昨年も鹿島台小学校四年生にかるたすごろくを贈りました。

鹿島台は、駅の開設と品井沼干拓により、多くの人が集まってきた大崎市内でも新しい地域です。かるたとすごろくは、随時販売しておりますので、遊びを通じて鎌田翁や鹿島台を知っていただきたいと思えます。

鹿島台の人には、干拓から学んだフロンティア魂があります。この心をみんなで育みましょう。



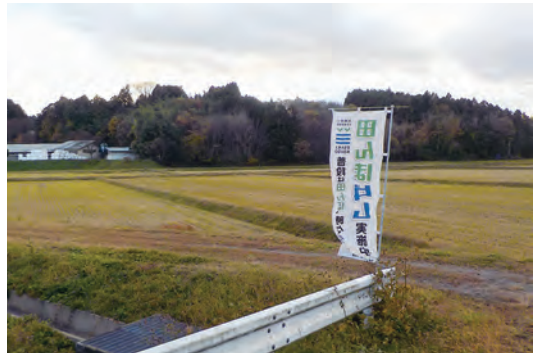
かるた・すごろくを受けとる子どもたち

鹿島台地域で「田んぼダム」が設置されています

近年、全国各地で毎年のように大規模な洪水が発生しています。大崎市でも令和元年東日本台風や令和4年7月の大雨災害など大きな洪水被害が発生しています。

このような状況から、大崎市では流域治水の一つの対策として、水田の持つ雨水貯留機能を活用した「田んぼダム」を推進し洪水被害の軽減に取り組んでいます。

「田んぼダム」とは宮城県ホームページによると『田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、農地や市街地の洪水被害を軽減しようという取り組み』で『田んぼから排水路に水を落とすための落水柵に、元々の落口より小さい口径の「堰板(調整板)」を設置し、田んぼからの排出量を抑制することで、排水路の水位の上昇を抑えます。』とのこと。



本地行政区 のぼり旗と田んぼダム



鹿島台本地行政区は「田んぼダム」の実証地区として市から土地改良区を通じて農業者に田んぼダム用ロータ型堰板を支給され、71haの実証圃場を設置しています。

本地行政区には「田んぼダム実施中」と書かれたのぼり旗も設置されています。

現在水害に強い安心のまちづくりのため、様々な取り組みが実施されています。

市民の皆さんも水害対策について学び備えていきましょう。

参考 宮城県ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tanbodamu-joukyou.html>



鹿島台まちづくり協議会は地域を元気にするため各種イベントやまちづくりのための活動を行っています。

現在人手不足が深刻です。参加できる範囲でかまいません！鹿島台のために皆様の力を貸してください。(特に若い方歓迎です！)

興味・関心のある方は下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：0229-56-7111(鹿島台総合支所地域振興課内)



まち協スタッフとボランティアでイールミネーションの準備を行いました



編集委員

佐中伊鹿大日高佐
々々幡藤野町野橋藤
恵信里祐順 政
美子子一孝智亨重

(編集委員長 佐藤政重)

明けましておめでとうございます。激動の二〇二三年、長期化する新型コロナウイルス禍において、二月二十四日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は現在も続いており、戦火により平穏な生活が突如として奪われ子どもやお年寄りなど民間人を含む多くの人々の尊い命が失われており、一刻も早い終息と世界中から争いが無くなることを願います。

国内では、この冬新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。両ワクチンの接種や基本的な感染対策を徹底し「コロナ禍後の先にある未来に夢や希望を持って」この困難を乗り越えていきましょう。

皆様にとって健やかで幸多き一年でありますよう、編集委員一同心よりお祈り申し上げます。

編集後記

鹿島台地域の

人口

12月1日現在

世帯数 4,603戸

男 5,394人

女 5,733人

計 11,127人